

平成25事業年度

決 算 報 告 書

自：平成25年4月 1日

至：平成26年3月31日

国立大学法人大阪大学

平成25年度 決算報告書

国立大学法人 大阪大学

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)	備 考
収 入				
運営費交付金	46,577	48,493	1,916	(注1)
施設整備費補助金	18,385	13,113	△ 5,271	(注2)
船舶建造費補助金	-	-	-	
補助金等収入	13,216	14,575	1,359	(注3)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	148	194	46	(注4)
自己収入	51,607	54,092	2,485	
授業料、入学金及び検定料収入	12,926	12,886	△ 39	
附属病院収入	34,245	35,982	1,737	(注5)
財産処分収入	-	27	27	
雑収入	4,436	5,195	759	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	22,140	27,241	5,101	(注7)
引当金取崩	-	147	147	(注8)
長期借入金収入	1,529	1,515	△ 13	
貸付回収金	-	-	-	
目的積立金取崩	-	57	57	(注9)
出資金	-	-	-	
計	153,602	159,430	5,828	
支 出				
業務費	93,071	95,046	1,975	(注10)
教育研究経費	61,147	58,927	△ 2,219	
診療経費	31,924	36,118	4,194	
施設整備費	20,062	14,823	△ 5,238	(注11)
船舶建造費	-	-	-	
補助金等	13,216	14,575	1,359	(注12)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	22,140	20,899	△ 1,240	(注13)
貸付金	-	-	-	
長期借入金償還金	5,113	5,100	△ 12	
計	153,602	150,445	△ 3,156	
収入－支出	-	8,985	8,985	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、予算段階で予定していなかった前年度からの繰越金を使用したことから、予算額に比して決算額が1,916百万円多額となっております。なお、決算額に含まれる前年度からの繰越金は3,240百万円であります。
- (注2) 施設整備費補助金については、予算段階で予定していなかった工事期間の変更があったことから、予算額に比して決算額が5,271百万円少額となっております。
- (注3) 補助金等収入については、教育研究の支援を目的とした補助金及び助成金の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が1,359百万円多額となっております。なお、決算額に含まれる前年度からの繰越金は165百万円であります。
- (注4) 国立大学財務・経営センター施設費交付金については、予算段階で予定していなかった追加の施設費が交付されたことにより、予算額に比して46百万円多額となっております。
- (注5) 附属病院収入については、診療単価の増により診療収入が増えたため、予算額に比して決算額が1,737百万円多額となっております。
- (注6) 雑収入については、科学研究費補助金等の競争資金の獲得に努めたことが主たる要因となり、予算額に比して決算額が759百万円多額となっております。
- (注7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、決算額に前年度からの繰越金6,768百万円を含めて計上していることが主たる要因となり、予算額に比して決算額が5,101百万円多額となっております。
- (注8) 引当金取崩については、前事業年度末の引当金を取崩したことから、決算額として147百万円の収入を得ております。
- (注9) 目的積立金取崩については、前中期目標期間繰越積立金を取崩したことから、決算額として57百万円の収入を得ております。
- (注10) 業務費については、物件費支出が予算段階での計画額を上回ったことが主たる要因となり、予算額に比して決算額が1,975百万円多額となっております。
- (注11) 施設整備費については、(注2)に示した理由により予算額に比して決算額が5,238百万円少額となっております。
- (注12) 補助金等については、(注3)に示した理由により予算額に比して決算額が1,359百万円多額となっております。
- (注13) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、受託研究費等の支出が予算段階での計画額を下回ったことが主たる要因となり、予算額に比して決算額が1,240百万円少額となっております。